

開講科目名 / Course	教育課程論	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期 / Second	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	今井 航	
担当教員名 / Instructor	今井 航	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	将来教員として授業を計画する際、国の定める基準、即ち学習指導要領に則り授業内容を自ら構成できるようになるための基礎力が養成される。そうした目標に到達するため、「教育課程とは何か（その形態・原理）」及び「学習指導要領とは何か」の問いの下、授業は進められる。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受講学生自らが初等・中等教育段階で経験してきた教育課程の諸特徴を振りかえり、具体的な事例をあげることができる。 2. 学習指導要領の歴史的変遷を説明することができる。 3. 学習指導要領の最新の動向を説明することができる。 4. 教育課程の構造及び編成原理を説明することができる。 5. 学校の教育活動を教育課程という視点から説明することができる。 	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探究心と創造力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 教育課程のガイダンス（経験を振り返る） 02. 生活科や、総合的な学習の時間、或いは特別活動、更には外国語活動 03. 学習指導要領の特徴 1 歴史的変遷の概要、現行の学習指導要領、昭和22年版、昭和26年版 04. 学習指導要領の特徴 2 昭和33年版、43年版、52年版、平成元年版、平成10年版、平成20年版 05. 学習指導要領の特徴 3 改訂の最新動向、現行の学習指導要領の総則を読む 06. 教育課程の構造 1 学校段階別にみられる教育課程の構造 07. 教育課程の構造 2 保育所・幼稚園や、特別な支援を要する児童・生徒の教育課程 08. 教育課程の原理 教育課程の歴史（戦前の教科課程）、教育課程の思想（教科・教科外の2領域論と類型論） 	
その他の授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドアウトにより最新教育事情に関する話題提供を行う。 ・受講者が話し合う機会を提供する。 	
時間外学修	<ul style="list-style-type: none"> ・授業計画に基づき、授業開始前に資料などに目を通すこと（8h）。 ・授業終了後、講義中に提示された資料を整理し、復習を行い、生徒指導における基本的な概念について自分なりの理解を構築する（10h）。 ・期末レポートの作成（4h）。 	
評価方法と評価割合	試験結果（学期末試験90%）。授業で扱った内容に基づき、到達目標及びテーマを踏まえながら作成された各問に、正確に答えられるかどうか、語句による記述式や記号選択式の問題により問う。なお、受講態度についても評価の対象とする（10%）。	
テキスト	<p>以下に示す学習指導要領の本体と解説総則編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校学習指導要領（平成30年告示） ・中学校学習指導要領（平成29年告示） ・小学校学習指導要領（平成29年告示） <p>以下のいずれかの事典/辞典</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新版 教育小事典第3版（学陽書房） ・教育用語辞典（一藝社） 	
参考書	よくわかる教育課程（ミネルヴァ書房） 「第5章 教育課程を考える」、新版 はじめて学ぶ教育の原理（学文社）	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	

教員以外で指導に関わる者の実務 経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		